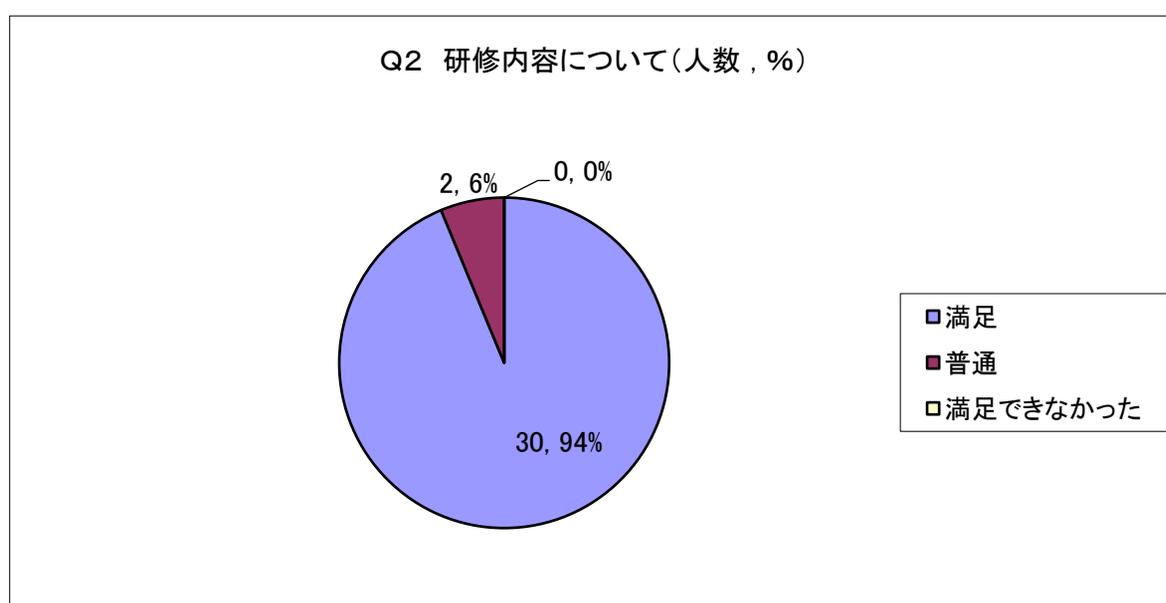
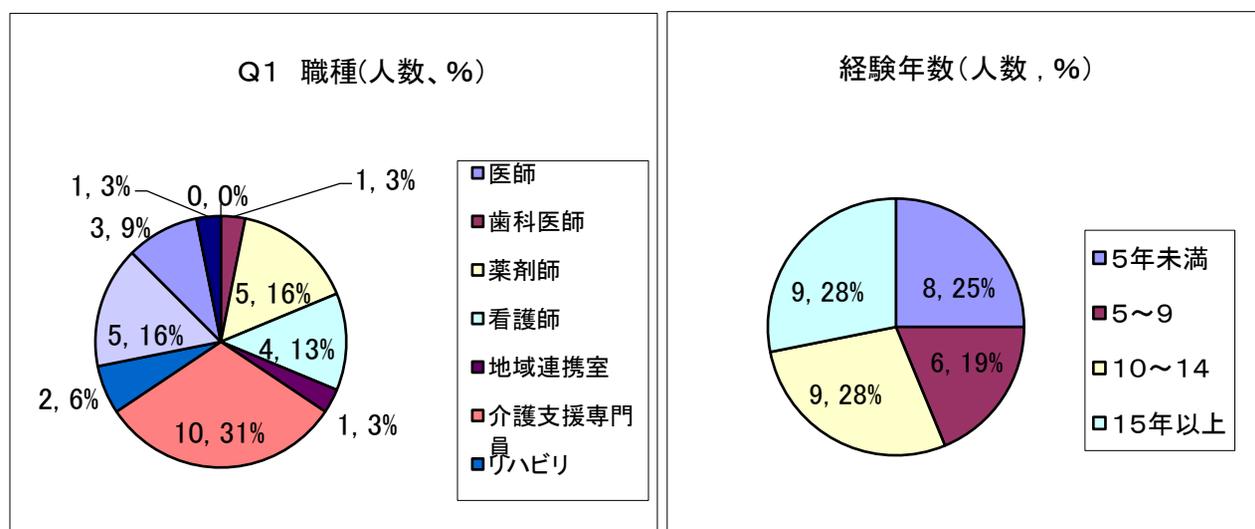


令和5年度 むなかた地域 多職種連携研修会(12月9日開催分) アンケート結果

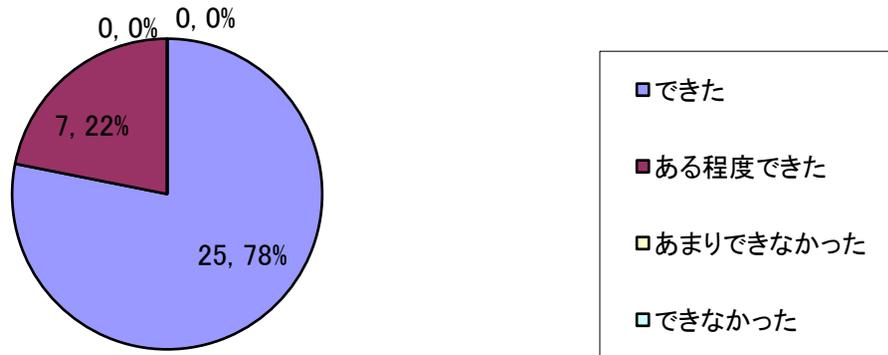
(参加者41名中32名 回答:回答率約78%)



<理由>

- ・ACPの概念を改めて知るきっかけになってよかった。(2)
- ・プロセスを大切にしていきたい。どう生きるかそのための支援。
- ・色々な考え方があると分かり勉強になった。(4)
- ・ACPの理解が深まった。グループワークで大変良い意見をいただいた。(4)
- ・実践に移していけそうな研修だった。
- ・他職種の方と話すことで知りえたことが多かった。(2)
- ・ACPについて、改めて有意義な勉強をすることができた。
- ・どうしたいという意向には理由がある。理由について聞くことが大切で、それによりこちらが多々提案できるということを知った。
- ・ACPについていろいろな視点から話げできたのがよかった。(本人、専門職、家族)
- ・話し合いを繰り返していきたい。
- ・ACPが本人だけでなく、家族を含めた関係者とも情報提供することが大切。ACPのことを一般の人に知ってもらうことが大切。

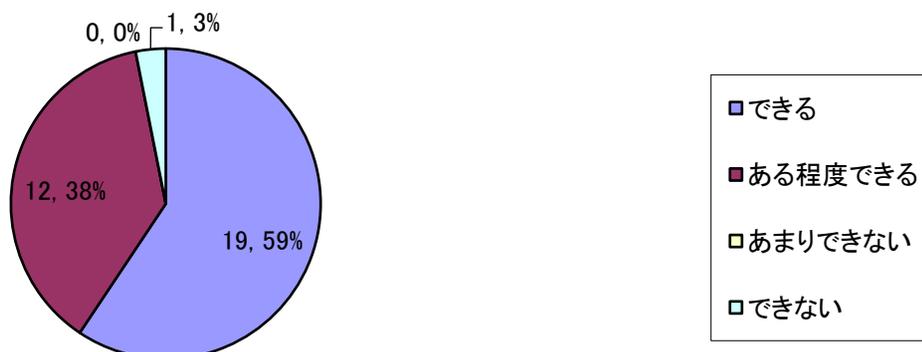
Q3 職種を交えて情報共有することで見えてくる問題や解決方法が体感できましたか？(人数、%)



<理由>

- ・立場による色々な話が聞けて良かった。(2)
- ・選択肢の見極め、本人や家族の意向に対するすり合わせが必要と思った。
- ・時間、タイミング、距離の物理的な問題で機会が持ちにくいこと。
- ・情報交換がスムーズに行えれば良い方法が見つかると思った。
- ・情報を共有すること。できることとできないことをはっきりとさせることの重要性が分かった。
- ・直接現場の話を聞いた。
- ・チームが大事。TV電話の利用、ズームもいいのでは？
- ・現場の声と理想では、時間や労力などギャップがあり、そのギャップをどう埋めるか課題がある。
- ・実務の上の経験を活かしたお話をたくさんお聞きできてよかった。ACPは本人だけのためではなく、残された家族のためのものでもあると学んだ。

Q4 今後の業務に活かすことができますか？(人数、%)



<理由>

- ・今担当している方の支援で取り組みそうだ。
 - ・後悔しない支援を心掛けていきたい。
 - ・業務は事務なので、活かすことはできないけれど自分の知識の糧となった。
 - ・職場でも伝達講習をする。
 - ・ACPをするにあたり、患者・家族の本音を聞く努力をする。
- 本人・家族の意思意向が違うことを知ったうえで実務にあたる。

Q5 その他ご意見やご要望

- ・多職種と話し合いの場が持てたので、とてもためになった。
- ・講義がとても分かりやすかった。
- ・ファシリテーターにいてもらい、安心してグループワークができた。ありがとうございました。おすすめの資料があれば紹介していただければと思います。
- ・とても勉強になった。ありがとうございました。今後も継続していきたい。(2「)
- ・具体例ももっと知りたかった。
- ・今後も多職種で話し合いを行いたい。
- ・このような研修をまた受けたい。(2)
- ・今回も研修会に参加できてよかった。施設での看取り＝病院という考えは予想外だったけど、少し納得できた。
- ・リビングウィルとACPの違いが分かりました。
- ・発表を地域リーダーがされたことがとてもよかった。十分考えて意見を述べることができた。いいグループで十分話ができ有意義だった。
- ・色々な事業所、職種の方と話ができて視野が広がった。またこのような多職種で話をする機会があるとよいかと感じる。
- ・今後の実務の中で活かしていきたいと感じることができる時間だった。